

# 東希スポーツフェスティバル 2020

## 10月16日（金）

天候が心配されましたが、予定通りに東希スポーツフェスティバルを開催することができました。今年は、子ども同士が接触する団体競技は実施せず、団体演技と徒競走、リレー、応援合戦を行いました。例年とは違う内容であったものの、子どもたちは精一杯自分の力を発揮し、自分の出番だけでなく友達や他の学年を励ます姿も随所に見られ、今年ならではの素晴らしいスポーツフェスティバルになりました。



10月1日（木）  
つぼみ保育園の園児が、3・4年生のソーラン節の練習を見学しました。今年からつぼみ保育園でもソーラン節を踊ることになったとのことで、小学生のソーラン節の迫力に目を丸くしていました。



10月2日（金）  
つくの幼稚園の園児が、5・6年生の「未来へ」の練習を見学しました。5年生にとっては、自分たちが6年生になったときに1年生で入学してくる子どもたちです。気持ちを込めて踊りました。

### 1・2年生 カモン!カナガワン!! ～アマビエバージョン～



1・2年生が、ここ数年踊っている「カモン!カナガワン」。今年は「～アマビエバージョン～」として演じました。1回目の演技が終わる直前に音が切れるハプニングがありましたが、3年～6年が手拍子で盛り上げてくれました。そして、2回目に踊り直したときには、他の学年のお兄さんお姉さんが一緒に踊り出し、楽しく温かな雰囲気になりました。全校の心が一つになったことを感じました。



3・4年生は、「東希ソーラン」です。黒い衣装にねじり鉢巻き姿で、迫力あるソーランを披露しました。「どっこいしょ」のかけ声は出せなかったものの、全身を使って精一杯表現した漁師さんが魚を獲る様子や決めポーズなどは、迫力満載でした。気迫のこもった演技に、周囲で見ていた人たちの気持ちも熱くなりました。

### 3・4年生 東希ソーラン2020



### 5・6年生 未来へ



5・6年生は、「未来へ」を演じました。練習中から、高学年としてよりよい演技をしようという気持ちを感じられる取組をしていました。指先から足の先、顔の向きに至るまで細やかに意識した演技には、見ている側が引き込まれ、真剣な眼差しが向けられました。最後まで踊り切った後に、盛大な拍手がわき起りました。

### 児童のアンケートより

制限のかかる状況下でしたが、精一杯頑張っていた様子がアンケート結果にも表れていました。【めあてをもって練習にしっかり取り組み、本番では力を出し切って頑張ることができたか。】【友だちと、励まし合い応援することができたか。】【友だちのがんばりやよさを認め、楽しく活動できたか。】のどの設問にも、「できた」「まあまあできた」と答える児童が95%を超えていました。保護者の皆様、ご理解とご協力ありがとうございました。

**感想**カモンカナガワンで、まわりのひとたちがいっしょにおどっているのがみえてうれしくなりました。（低学年）

今までにないスポフェスだったので、とても心に残りました。どの組が1位になったとかではなく、ワンチームで戦うことができたことが、とてもうれしかったです。（中学年）

練習時間は少なかったけど、集中して取り組むことができました。このような状況でスポフェスができることが嬉しいです。「未来へ」は感謝の気持ちを込めて演技をしました。（高学年）